

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点等
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・1日10名の定員であるが、1コマに5名程度の利用となるので、活動場所として十分なスペースを確保している。
	②	職員の配置数は適切であるか		○		・1対1での個別活動ができるように配置している。 ・職員の体調不良等による急な休みに対応できるような配置の工夫をしていく。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		・入口とトイレの入口をスロープにして、車椅子でも利用できるように配慮している。 ・現在は、スロープを必要とする利用者や保護者はいないが、必要な場合は見学时や契約時に案内する。 ・現在、入口ドアが開閉しにくいので、ドアノブ補助具の取り付けをする。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			・目標の共有と振り返りを随時行い、職員間で改善の方向性を共通認識して業務遂行している。 ・今後さらに、気づいたことは、すぐに共有できる風通しのよい職場となるように、職員間でのコミュニケーションを促進する。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・令和4年4月に開所し、令和5年1月に保護者アンケート調査を実施した。 ・保護者アンケートの結果を集計・集約し、業務改善に反映させる。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・令和4年4月に開所し、約1年間経過したところで自己評価を行ったところである。 ・ホームページでの公開及び事業所内への掲示を行う予定である。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・現在、外部評価は行っていない。 ・今後検討していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・内部研修は、担当者を中心に全員で行っている。 ・今年度は1名が相談支援従事者初任者研修及びサビ児管基礎研修を受講した。 ・外部研修にはまだ参加できておらず、今後参加できるように検討していく。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画（個別の支援計画）を作成しているか	○			・相談支援事業所が作成した「放課後等デイサービス利用計画書」や連携内容、保護者や本児との面談や行動や活動の様子、保護者から情報提供してもらった各種検査結果等を職員が共通認識し、「放課後等デイサービス計画（個別の支援計画）」に反映させている。 ・日々の療育を通しての小さな変化や気づきを職員間で共有し、「放課後等デイサービス計画（個別の支援計画）」を見直している。 ・今後も引き続き、子どもや保護者の意向を十分に踏まえた「放課後等デイサービス計画（個別の支援計画）」を作成していく。
	⑩	子どもの適応行動の状況を測るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	・標準化されたアセスメントツールを使用しているものの把握や分析ができていない。 ・今後導入を検討していく。（令和5年度に検討し、令和6年度までには導入を図る）

⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		<ul style="list-style-type: none"> ・日々の活動プログラムは個別に作成するため、その日に担当する職員が立案している。 ・事後に成果と課題を職員間で共有し、今後の支援の方針を確認し、それに基づいて個別の活動プログラムを立案している。
⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・一日の活動プログラムはだいたいの流れや時間配分が固定化されているが、活動内容は毎回違う。 ・自己選択活動については、興味関心の幅が広げられるように様々なプログラムを吟味し提示できるように工夫している。
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		<ul style="list-style-type: none"> ・休日は開所していない。 ・長期休暇には利用時間の変更や、利用者や保護者の希望により特設の課題を設定することもある。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		<ul style="list-style-type: none"> ・EISUみらい塾では個別活動による行き届いた支援、利用者の満足度、自己肯定感の向上に重きを置いている。 ・利用者の様子を見ながら小集団活動を取り入れているが、その際も担当している利用者が他の利用者との関わりを通して有益な体験ができるように職員一人一人が配慮している。 ・集団活動は年に数回行う特設行事の際に行うため、全員が参加するわけではない。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・常勤職員は打ち合わせを行っている。 ・非常勤職員には掲示板や療育計画表で書面にて知らせるとともに、常勤職員から口頭でも詳細に説明をするようにしている。
⑯	支援終了時には職員間で、必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか		○		<ul style="list-style-type: none"> ・支援終了時には打ち合わせの時間が十分に取れないため、翌日に振り返り、成果と課題を共有している。 ・ただし、即時対応が必要なことについてはその都度、管理者に報告し支持を仰いでいる。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		<ul style="list-style-type: none"> ・ケース記録票を作成している。 ・ケース記録は項目を立て、必要事項の書き洩らしがないように、また、記入例を示し、質の担保ができるように工夫している。 ・経験の浅い非常勤講師は、「○○できてよかった」など、具体性に乏しい表現になりがちである。 ・非常勤講師の育成が今後の課題である。 ・ケース記録があることで、長期的な支援の検証・改善が可能となっている。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・日々の振り返りを行うとともに、必要に応じてモニタリング会議を行い、個々の課題や目標を微調整しながら支援を行っている。 ・「放課後等デイサービス計画（個別の支援計画）」は6カ月ごとに作成している。
⑲	ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・発達支援として、「意欲・関心・態度」「コミュニケーション能力」「学習能力」「自己選択・自己決定力」の4観点を支援できる活動を取り入れている。
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・常勤職員はどの子の状況も把握しているので、担当者会議には児童発達支援管理責任者が参画することが多い。 ・場合によっては、その子どもに直接関わることも多い職員が参画することもある。

関係機関や保護者との連携	⑳	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子供の下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・学校との情報共有は保護者を通じて下校時刻の確認等を行っているが、緊急を要する場合は直接学校と連絡調整を行う場合もある。 ・特別に学校との情報共有を必要とする子どもについては連携している。 	
	㉑	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、医療的ケアが必要な子どもの利用はないが、受け入れる場合には子どもの主治医との連絡体制を整える。 	
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	<ul style="list-style-type: none"> ・現時点ではできていない。今後検討していく。
	㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	<ul style="list-style-type: none"> ・現時点ではまだ障害福祉サービス事業所へ移行する利用者はいない。 ・利用者が移行する場合には連携を行い、支援内容等の情報が提供できるようにケース記録やポートフォリオを蓄積している。
	㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	<ul style="list-style-type: none"> ・専門機関との連携は行っているが、助言や研修を受けるまでには至っていない。 ・今後、助言を仰いだり研修が受けられるように依頼したりする。
	㉕	EISUみらい塾以外の人と交流する機会があるか			○	<ul style="list-style-type: none"> ・現在交流する機会は設けていない。 ・交流を希望しない保護者もいるため、今後は希望者に交流する機会を提供するかどうかを検討していく。
	㉖	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度は「福山市障がい者総合支援協議会」の開催する研修会への参加や協議会が発行する資料等の活用を図ることから始めていく。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・保護者送迎を基本としているので、主に療育終了後に内容や子どもの様子を伝えている。 ・送迎時の連携が十分できない家庭については電話連携をしている。 ・メールでの連絡も案内しているが、周知が十分できていない。軽微な内容についてはメールでの連絡を活用してもらえるように周知を図る。
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、保護者に対して、取り立てて行っている支援はない。今後、検討していく。
保護者への説明責任等	㉙	運営規定、支援の内容、保護者利用負担等について丁寧な説明を行っているか	○		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に「重要事項説明書」をお渡ししたり、支援の内容についての資料を提示したりして説明している。 ・令和5年度は支援の内容についてより分かりやすく掲載した「利用案内」を作成して配付できるようにする。 	
	㉚	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか			○	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に対する面談や相談対応を、希望に応じて行っている。 ・面談や相談は随時行っていることを「利用案内」に明記したり、お便りを配付したりして周知する。
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者同士が交流できる機会を設けたりする等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者主催の父母の会は作られていない。 ・今後、交流の機会を設けるかどうか検討していく。

保護者への説明責任	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情受付窓口を設置している。 ・要望や苦情については、対応（改善できること、できないことの報告）を確実にし、全体に関わることにについては周知を図る。
	③④	定期的におたよりやホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じてお便りを配付している。 ・活動の様子等はHPにて発信し、「ホームページ更新情報」を事業所内に掲示している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか		○	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の記載された書類は鍵のかかる書庫に保管し、不要になった書類等は確実にシュレッダーで細断して破棄している。 ・子どもの写真や作品を、HPやお便り、事業所内への掲示等を行う場合は保護者の同意を得られたものに限り掲載している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は特に配慮が必要な利用者はいないが、はっきりとゆっくり話す、視覚情報を併用するなど、どの利用者にも分かりやすい配慮をしている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	<ul style="list-style-type: none"> ・今のところ地域とのつながりはできていない。 ・今後、つながりができるように検討していく。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	<ul style="list-style-type: none"> ・各種対応について運営規定に定めている。 ・今後、各種マニュアルを事業所内に設置し、誰でも閲覧できるようにする。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか		○	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の避難訓練は11月に個別に行った。（避難訓練の必要性、避難の仕方、第一避難場所までの避難） ・職員の救出・消火訓練は福山北消防署の指導のもと、1月に行った。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止マニュアルは策定しているが、研修への参加は十分とは言えない。 ・令和5年度は虐待防止チェックシートを用いて、月初めに全員でチェックしていく。 ・令和5年度は1名以上が外部研修に参加し、全職員に還元していく。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度中に「身体拘束を行う場合」の組織的な決定を行い、令和5年度は子どもや保護者に説明し了解を得られるようにしていく。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時にアレルギーがあるかどうかを確認し、必要な配慮を行っている。 ・保護者への確認を徹底し、医師の指示書がある場合はコピーを全職員が分かる場所に保管し対応する。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットの事例は日常的に必ず報告し共有しているが、事例集の作成までには至っていない。 ・新しく入った職員にも分かるように事例集として蓄積していく。